

2024~2025年度 地区スローガン

持続可能なロータリーに！ 共に学び、共に行動
Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

2024~2025年度クラブテーマ

ロータリーを楽しみ、人生をエンジョイ

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30 例会場 勝山市市民交流センター 〒911-0811 福井県勝山市片瀬町1丁目402番地
TEL 0779-87-7761 FAX 0779-87-7760 URL http://katsuyamarc.jimdo.co Email:katsuyamarc@gmail.com
■会長 斎藤清一郎 ■幹事 久保光子 編集発行・文責 公共イメージ委員会

第3057回 例会 (11月26日)

●会長スピーチ

会長 斎藤 清一郎



白山も少し白くなり徐々に冬が近づいていると感じます。

いよいよ来週からは師走になります。何故か気持ちは慌ただしくなりますが、大晦日も元旦も連続した毎日の一日で、人生3万日の一日に過ぎないということで、心静かにゆったりと過ごしたいと思っています。

とはいっても大雪にでもなればそんな事は言っていないのが現実です。

一昨日、母の納骨で京都に行ってきました。京都駅は人をかき分けないと歩けないほどの人で、ほぼ外国人の方ばかりでした。

コインロッカーもいっぱいですし、タクシーも100人位並んでいました。次々と来るのですぐに乗れましたが、タクシー運転手さんに聞くと外国の方ばかりとのことでした。

先月行った東京の銀座でもタクシー運転手曰く、「銀座に日本人はいませんよ。」ということでした。

この後山田様より福井でのそういうお話も聞けるのではないかと楽しみにしております。

●幹事報告

幹事 久保 光子

○理事役員会の議事録をご確認ください。

●委員会報告

●親睦ロータリー家族委員会

小林 達治

1月7日は新年例会となりますので予定しておいてください。

●SAA

幅田 浩二

12月8日のクリスマス例会の服装は平服でお越しく下さい。

●出席報告

上山 弥一

11月26日	欠席3名	86.96%
11月19日	欠席6名	73.91%

●ニコニコ報告

山内 政司

届出欠席 田村昌博・上山弥一・和田達也
無届欠席 山本泰司

ゲスト卓話

新幹線開業を観光まちづくりのスタートとするために

(公社)福井県観光連盟 会長 山田義彦 氏



皆さんこんにちは。本日は新幹線開業を観光まちづくりのスタートとするためにということでお話をさせていただきます。

まず福井県のインバウンドの状況ですが新幹線が開業して国内のお客様には多く来ていただいているのですが、外国からのお客様は本当に寒い状況でございます。

数で見ますと、1番下が高知県で福井は46位です。全国で1ヶ月ですと300万人を超えるのですが、なかなか福井まで足を運んでいただけないという状況です。ただ46位ですので、まだまだ伸び代があると考えておまして、国内のお客様の次はインバウンドをターゲットとしながら観光戦略を色々考えていきたいと思っております。

大体外国から来ると、1回目の方々は東京、大阪、名古屋、京都へ行かれるようです。2回目に来日された方は金沢です。大体観光客の8割が外国人です。県の観光連盟の職員が金沢に行きまして、外国人の方々に聞きますと、大体2度目、3度目という方が多いです。ですから、多分来日3回目、4回目で福井の方にも来ていただけて、勝山に外国人の方がわんさとお見えになる時期もあるだろうという風に期待をいたしているところです。

先ほど経歴のご紹介をいただきましたが、私は県の農林水産部長の時に、いちほまれの開発を行いました。その後西川知事から福井市へ2年ほど行ってこいと言われて、福井駅の西口側の再開発をやり始めました。色々あって2年の予定がが4年になり、4年が8年になりました。

本日 プログラム	総会	12月8日 プログラム	クリスマス 家族例会	12月17日 プログラム	理科研究発表	12月24日 プログラム	会員卓話 富士根会員
-------------	----	----------------	---------------	-----------------	--------	-----------------	---------------

おかげさまで、県と福井市での副市長の生活を入れまして40年以上公務員生活をさせていただきました。2020年コロナが大変な時期、退職してうちのんびりしていると思っておりましたが、今の杉本知事から呼ばれまして県民の皆さんのおかげで公務員生活を送ってこられたのだからと恩返しに観光連盟お仕事をさせていただく事になりました。

恩返しでございますので私はボランティアでをお仕事させていただいている状況でございます。

少し前置きが長くなりましたが、本県の観光の概要についてお話をさせていただきます。3月16日に北陸新幹線が開業して、観光入込は対前年比増の傾向が続いており、開業後7か月を過ぎた現在も効果が持続している状況です。10月からはJRが北陸デスティネーションキャンペーンを展開しており、カニのシーズンも相まって入込はさらに増加しています。県のとりまとめによると、新幹線開業から7か月間の県外来訪者数、主要観光地の入込数、2次交通の利用者数等は、いずれも前年を上回っており、現在も開業効果が継続し好調を維持しています。

17各市町の主要地点での対前年比の来訪者数を比較をしてみますと、対前年比の伸び率で池田町が416.1%です。これは昨年11月19日に国道417号線の冠山トンネルが開通し、岐阜県と中京圏の方からお客さまが増えたためです。次に勝山で155.1%です。次が永平寺町、大野市と、奥越は新幹線の開業効果が及んでいるなど思っております。一方で嶺南の方は、小浜市、おおい町、若狭町は前年比で下回っておりまして、まだまだ北陸新幹線の開業効果は届いていないという実感を持っています。

それに合わせまして、福井の認知度が向上いたしました。新幹線だけではなくマイカーでお越しになる方が増えているところです。さらに、県内で開催されます学会の数は昨年年間80件約5万2000人でしたが、今年は140件7万4000人ありました。学会は平日や閑散期に開催していたので経済的な効果が大きいと思っております。

また道路の状況につきましては中部循環自動車道が2026年の春に開通する予定でしたが、工事の状況により見直しがかかって開通時期が明らかになっていない状況です。

中京方面からの誘客にも力を入れており、8月には名古屋の高島屋におきまして出向宣伝などを行いました。

先ほど昼食の時に会長から福井空港の質問がありましたのでお話をさせていただきます。どのように活用するか考えているところで、ヘリコプターやプライベートジェットでお客様に観光目的に来ていただくということで可能性の検討をしています。あわせまして50年以上経ちました空港ビルの再整備は県土木部の方で検討を進めているところでございます。

年明けには大阪関西万博が開催されます。20年ぶりの日本開催です。さらには来年8月に「山の日」の全国大会が開催されます。勝山も会場になっております。

さらには、平泉寺の三三年式年祭では5月23日から3日間いろんなプログラムがあるということで、多くのお客様に来ていただけるだろうと思っております。

今年新幹線の開業により県が全国から注目を浴びまして、認知度が高まりました。このチャンスを生かして官民一体となって観光まちづくりを進め地域活性化につなげていく必要があるだろうと思っております。我々の方でも、各地域のDMOと連携しながら観光DXを進めて稼ぐ観光地を進めてまいりたいと思っております。

勝山にもDMOがございまして、勝山市観光まちづくり(株)があります。全国的にも非常に評価が高く注目を集めています。なぜかと言いますと、大体地域のDMOはほとんどが行政の財政的な支援を受けているのですが、ここは自主財源でいろんな事業をやれているというところで

勝山は観光に恵まれておりまして、世界の三大恐竜博物館の1つの恐竜博物館、白山平泉寺、今外国人に人気の越前大仏、勝山城、それから冬はスキージャンプ勝山、左義長祭り、福井県の17市町の中でも観光素材に詰まった地域で楽しみな地域だと思います。今後ますます伸びていくだろうと期待をしているところです。

観光連盟では私を除いて25名の職員が常駐しています。その中で専門の人材をご紹介します。

- ・観光地域づくりマネージャー（ヤフー・美瑛町DMO出身）
- ・観光ブランドアップスーパーバイザー〔宿・食〕（星野リゾート総支配人出身）
- ・インバウンドアドバイザー（じゃらん出身）
- ・観光サステナビリティ・エキスパート（星野リゾート出身）

その他外国人の職員を8月に採用し、インバウンド向け（英語・フランス語）の情報発信やコンテンツについて外国人目線から助言するなどのサポートを担当しています。

お声がけをいただければ派遣させていただきアドバイスをさせていただきますのでお問い合わせください。

観光というのは統計的なデータが少なかったもので、主な観光施設90エリアでQRコードを設置してアンケートを実施し、年齢・同行者・居住地・満足度などを把握することにより、当連盟のみならず県内事業者が情報発信や観光地づくりにデータを活用できる環境を提供していますのでホームページからご確認いただけます。

アンケートに「推奨意向」という項目があり、これは福井に観光に来た方が、その観光地を人にお薦めできるかどうかを数字で表すものです。

勝山市内では恐竜博物館・道の駅・越前大仏・スキージャンプ勝山・平泉寺・ゆめおーれの6エリアで調査を実施しており、推奨意向が最も高いのは平泉寺で苔が一面に広がった景色が幻想的など景観や雰囲気の評価する方が多く、次いで道の駅はトイレの清潔さを評価する意見が多い一方、苦情のご意見もありますので参考にさせていただければより良い観光地になっていくんだろうと思っております。

また旅行業者への売り込みも行っておりまして、東京、大阪、名古屋、長野で観光商談会を開催し、福井への旅行商品の開発を進めております。商談会にはどなたでも参加できますのでお問い合わせください。

他にも台湾への観光の窓口を設置し、台湾の教育関係者を招いてファムツアーを実施し、来年の2月に台湾の高校から修学旅行に来ていただけるようになったところです。さらには国内の修学旅行にも力を入れており、来年は13校が県外からお越しいただけるようになりました。

情報発信については、私どものホームページの「ふくいドットコム」が2022年にリニューアルしましたところ、今年は閲覧数も伸びております。特に東京の方の伸びが大きく、新幹線開業を機に福井に関心を持っていただいていることが数字に現れていると思っております。

県では今年度今後5年間の「新たな観光ビジョン」の策定作業を進めています。

北陸新幹線の敦賀までの開業で入込数は順調とは言え、この好調を来年も持続させるためにも観光地づくりや人材育成に取り組んでいく必要があると思っております。

観光は人数だけではなくお金を落としてもらうことが大事ですので、キャッシュポイントづくりに県・市町・民間で連携をとりながら進めていきたいと思っております。

また県民お一人お一人の福井の魅力発信や観光客に対するご案内などのおもてなしも重要でありご協力いただければありがたいと思っております。皆様のお力添えをお願いいたします。